



神津康雄氏(写真:産経新聞) 神津康雄氏(こうづ・やすお=日本寮歌振興会会長)16日死去、94歳。葬儀・告別式は近親者で済ませた。お別れの会は5月29日午後5時、東京都渋谷区神宮前1の5の3、水交会で。喪主は長男、仁(ひとし)氏。(静子様 世田谷区若林5-4-7 03-3421-7389)

神津泰雄(やすお)先生 東北大19年卒 同級生:森 富(昭和舎)・鈴木泰三(応用生理学、医学部長)
平成24年6月 関東良陵同窓会に3名出席 浦本藩一(衛生、成城)、飯島俊夫(外1・整形、高崎市)

大正8(1919)年2月27日-平成25(2013)年4月16日(94歳)

群馬県との県境にある山村、長野県の志賀村(現在の佐久市志賀)に生まれた。

神津家は三百六十年前の慶長年間《1596-1615》から続く家柄、**十人兄弟の九番目**

中学二年の時に、両親、弟の四人で、「夜逃げ」同然で東京に出た。

知人の伝手《つて》で**東京府立五中**に編入学、二高を受験して二度失敗、二浪して

昭和13年 **山形高等学校の理乙**に入学

1年生の終わりに寮の委員に選ばれ、2年生になったら総務委員長に選任

昭和16年 **東北帝国大学医学部**入学、その時に黒川先生が、助教授から教授に就任

昭和20年の卒業予定が半年繰り上げとなり、**昭和19(1944)年7月**になった

すでに**海軍軍医中尉**として戸塚の海軍軍医学校で教育中でしたので、卒業証書は軍医学校で受け取り
軍医学校で半年の訓練を受けた後、名古屋の海軍第二河和(こうわ)航空隊付になり赴任

半年の間に、半数の十一人が訓練中に事故死(検死)

昭和20年6月 沖縄の設営隊への転勤命令

徳島の設営隊で集団赤痢、3500人の隊員がいる第五八四設営隊で「第三航空艦隊」指揮下に属す。

法務中尉の副長、主計長、私の三人が11月まで隊に残り残務整理

復員後、**昭和21年から黒川内科**に戻り、学位論文の仕上げが終わった段階で、

先生の指示に従い、いくつかの病院や診療所に勤めた。

昭和25年1月、青森県の浪岡町に町立病院をつくる(70床)→

昭和27年7月5日に開院。弱冠33歳(院長)

出典 大正生まれの戦前・戦中記(投稿 神津康雄)

投稿日時: 2005-7-11 17:52 kousei.s40.xrea.com/xoops/modules/

昭和29(1954)年 東京都世田谷区若林に自宅開業

昭和62(1987)年11月2日 東北大学関東支部総会(ホテルニューオータニ)261名参加

石田学長、伊藤宗一郎科学技術庁長官、安西宏東京ガス会長

黒川利雄日本学士院長~乾杯、加藤登紀子さん友情出演、

昭和62(1987)~平成13(2001) 東北大学関東良陵同窓会会長

日本医師会常任理事(1982~1984年)

日本臨床内科医会会長(1989年~、名誉会長)

日本寮歌祭会長(2002年~)、日本寮歌振興会委員長(1964年~)

日本病院管理教育協会理事長

平成25年4月16日 死亡(94歳) 平成25年5.29(水)午後5時~ 東郷会館内水交会「お別れ会」